

市立角館総合病院 移転建設の用地案示される

「市立角館総合病院建設整備用地選定検討委員会」の答申結果

市内医師を始めとするメンバーで構成する、用地選定委員会が4地区を市へ答申

- 1、岩瀬下夕野地区（角館町岩瀬下夕野地内）
- 2、旧角館東小学校敷地（角館町外ノ山地内）
- 3、落合地区（角館町西田地内）
- 4、秋田県立角館南高等学校敷地（角館町小館地内）

9月議会において市当局は、角館総合病院移転建設のための用地について、市内医師を始めとしたメンバーで構成される「市立角館総合病院建設整備用地選定検討委員会」の答申結果を公表した。これまで委員会を計5回開催し、病院建設用地に関して調査、議論の結果、用地選定委員会は病院建設用地を上記の4地区に絞り込んだ。これを受け、今後市議会としても、市民を始め利用者の利便性や安全性、まちづくりや将来像を含めた新病院の在り方など、様々な角度からの検証を行う必要がある。市立角館総合病院は当初平成28年度の開業予定であったが、門脇市長が昨年度、平成26年度に開業を前倒しすることを表明していた。この後、慎重かつ迅速な議論が求められる。

市立角館総合病院建設候補地選定に関する総括表（用地選定委員会答申書より抜粋）

地区名	建設候補地検討内容	検討結果
落合地区 (落合公園向い)	市道岩瀬北野線沿いであり、田沢湖・西木方面及び協和・中仙方面からのアクセスはよく利便性はある。(岩瀬北野線の横町方面への延伸事業が今年度より実施されている。)地盤は安定している。第2種低層住居専用地域であり、高さ制限及び建築物の用途制限があるが、候補地選定に際しては見直し或いはこの条件下での建設が可能である。	候補地として最も適している。
角館南高校敷地	市街地に近く、交通アクセスも公共交通等の運行もあり利便性の高い地区である。地盤は安定している。現在、角館高等学校との統合が検討されている。統合時期等については公式な決定がされていないが、27年度開校を目標とする検討がなされている。	候補地として最も適している。
旧角館東小学校敷地	角館駅、羽後交通角館営業所から近く、車では、田沢湖・西木方面及び、中仙方面からは国道105線よりアクセスでき利便性はある。市有地であり用地費については無償若しくは安く取得でき、建設費の削減につながる。現校舎、体育館の解体をしなければならない。(設置条件等の廃止が必要)敷地については、建物敷地、グラウンド敷地の高低差があり敷地造成工事にある程度の工期が必要となる。市街地より貴台にあるため勾配のきつい坂道を登らなければならない、冬期間の通行に難がある。	候補地として適している。
岩瀬下夕野地区 (玉川河川敷周辺)	国道105線より、市道岩瀬下夕野1号線及び上野大徳山線を利用しアクセスできる利便性の高い地区である。(一部幅員減少)都市計画道路岩瀬北野線の延伸が敷地を横断する形で計画されている。国道より少し入った土地であるため、他の民有地と比べ用地費の軽減は図られる可能性はある。地盤は安定しているが、一部砂利採取のため軟弱な箇所があることが予想される。 仙北市のハザードマップによると、この地区は大雨時に玉川からの浸水の可能性があることが予想されているが、現在河川改修工事が計画されている。	候補地として適している。

市立角館総合病院建設整備用地検討委員 名簿

役職	氏名	備考
委員長	鬼川 温	大曲仙北医師会角館ブロック会 会長
副委員長	赤倉 羊子	仙北市結核予防婦人会 会長
委員	石井 伸明	大曲仙北医師会角館ブロック会 副会長
委員	川合 ティ	前仙北市結核予防婦人会 副会長
委員	藤枝知恵子	仙北市結核予防婦人会 副会長
委員	市川 晋一	市立西明寺診療所 所長
委員	伊藤 貞男	市立神代診療所 所長
委員	佐々木英人	市立田沢湖病院 院長
委員	西野 克寛	市立角館総合病院 院長
委員	後藤 薫	市立角館総合病院 副院長
委員	伊藤 良正	市立角館総合病院 副院長
委員	鈴木 一正	市立角館総合病院 副院長

